

開設キットに入っているもの

1 地域防災拠点ペット飼育場所開設手順書
(黄色のクリアファイル)

2 物品類

商品	数量	商品	数量	商品	数量
ブルーシート	2枚	軍手	3双	油性ペン(赤)	1本
雑巾	3枚	鉛筆	5本	ボールペン(黒)	3本
ゴミ袋(70L)	10枚	鉛筆削り	1個	ボールペン(赤)	1本
ゴム手袋	10枚	消しゴム	1個	結束バンド	20本
ペットトイレシート	5枚	付箋	2パック	ケージ用番号札	25枚
ペーパータオル	1パック	ハサミ	1丁	ロープ(黄色)	1巻
養生用テープ	1巻	クリップ	1箱	クリアポケット	15枚
布粘着テープ	1巻	ダブルクリップ	1箱	A4用紙	-
セロテープ	1個	油性ペン(黒)	1本	A3用紙	-

※地域防災拠点に合わせて、必要な物品は追加してください。

地域防災拠点 ペット飼育場所 設営手順書



令和5年度作成 鶴見区役所総務課・生活衛生課
協力：鶴見レスキューパウズ

はじめに

地域防災拠点でのペットの飼育場所は、飼い主のみなさんが「飼い主の会」を立ち上げ、協力し合いながら運営・管理するものです。

この「ペット飼育場所設営手順書」は、飼い主のみなさんでペットの飼育場所を開設し、避難してきたペットの受付を行い、飼育管理していく手順を示しています。

手順どおりに進めれば、ペット飼育場所の開設ができますので、まずは手順1から順番にやってみましょう。

大切なペットを守るため、力をあわせて共に困難を乗り越えていきましょう。

令和5年6月
鶴見区役所・鶴見レスキューパウズ

※鶴見レスキューパウズは、鶴見区を拠点とし、ペットの防災に取り組んでいる市民グループです

目次

手順 1	ペットの一時待機場所をつくる	3 p
手順 2	ペット一時待機場所を周知する	4 p
手順 3	ペット飼育場所をつくる	5 p
手順 4	受付をつくる	8 p
手順 5	ペット飼育場所を周知する	10 p
手順 6	受付を開始する	11 p
手順 7	ペットたちの情報をまとめる	16 p
手順 8	飼育管理のルールや担当を決める	17 p
手順 9	飼育ルールを周知する	18 p

様式類

参考資料

手順 1. ペットの一時待機場所をつくる

手順	様式
<p>1. ペット飼育場所ができるまで、一時的にペットを待機させておく場所を決め、ケージに入れるか係留する。</p> <p>2. 待機場所付近にペット一時待機場所であることを掲示する（様式1-1）</p> <p>※ペット受付予定場所の近くに設置する</p>	1 - 1

様式 1 - 1

様式1-1
<h2>ペット一時待機場所</h2> <p>ペット飼育場所の設営が完了するまで一時的に待機させています。 設営が整い次第、移動します。</p> <p>事故防止の為、飼い主さん、関係者以外はペットに触れないでください！</p> <p>何かありましたら_____までご連絡ください。</p> <p>Tel _____。</p>


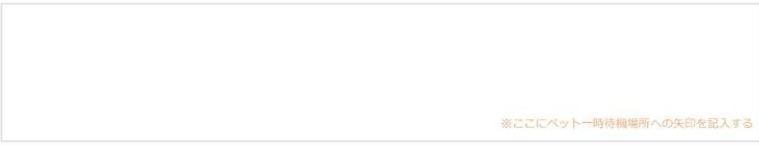
手順2 ペット一時待機場所を周知する

手順	様式
校門から一時待機場所までのルートを記入し、 掲示する。 ※ なるべく一般の避難者と動線がかさならないようにする。	2-1 2-2

様式2-1

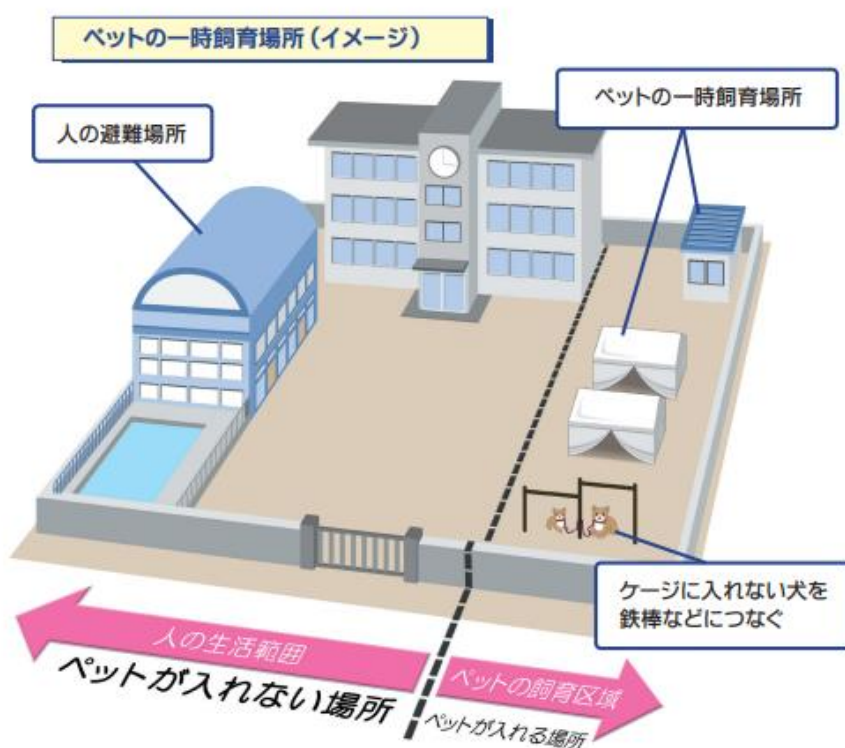
待機場所までの案内図	様式2-1
	
<small>※ 校庭配置図があれば、そちらに記入する</small>	

様式2-1

様式2-2	
<h1>ペット同行避難の方</h1>	
<p>ペットを連れて避難して来た方は下記案内の矢印に従って進み、指定の場所まで来てください。</p>	
<p>※ ペットの受付・預け入れが先になります。 ペット同行避難者の受付後、飼い主さん（人）の受付となります。</p>	
	
<small>※ここにペット一時待機場所への矢印を記入する</small>	

手順3. ペット飼育場所をつくる

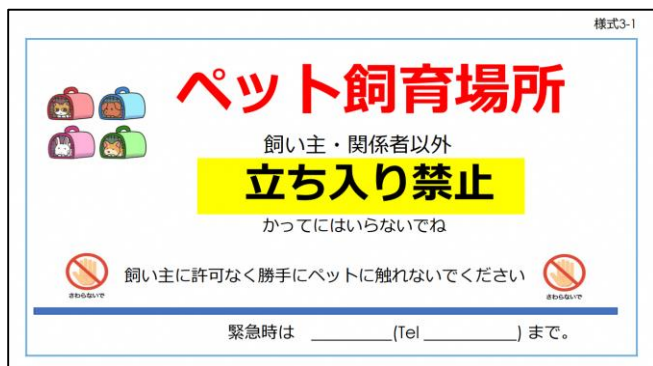
手順	様式
1 飼育場所を決め、屋外であれば日差しや雨風が避けられるようブルーシートを張る。室内であればケージ等設置前に下にブルーシートを敷く。関係者以外入らないよう境界（仕切り）を作る。ロープを張ったり、必要に応じて椅子などを使う。動物の種類ごとに、離すか、仕切りをつくる	3-1 3-2 3-2
2 「ペット飼育場所」の掲示をする	
3 ペットの種類に応じて飼育場所の案内を掲示する	
4 排泄物の廃棄場所をつくり、案内を掲示する	



ペット飼育場所設営例



様式 3 - 1



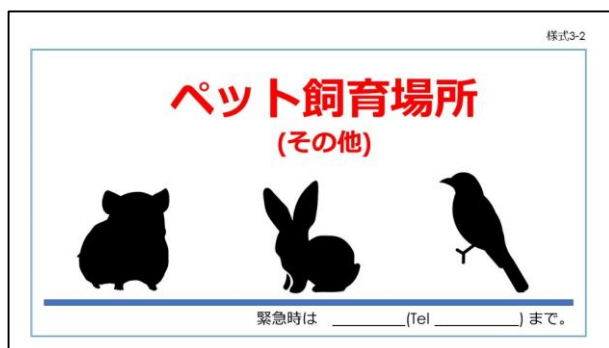
様式 3 - 2



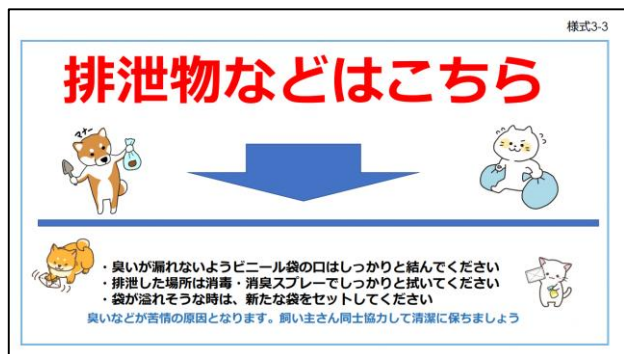
様式 3 - 2



様式 3 - 2



様式 3 - 3



手順4. 受付をつくる

手順	様式
1 椅子と机を借りてくる。机に「受付案内」と「飼育ルール」を掲示する。	4-1 4-2 4-3
2 筆記用具・受付用書類、番号札などを並べる	4-4 4-4 4-6

受付の例



様式4-2

様式 4-2

地域防災拠点における飼育ルール

※ ルールの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会で検討したうえで、加除修正を行い、地域の実に合ったルールを作成してください。

飼い主の皆さんへ

この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - ・ 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - ・ 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - ・ 救援物資（ペットフード・資材等）の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所ですせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世話も飼い主の皆さんで共同で行っていただくようお願いいたします。

様式4-1

様式4-1

ペット受付

飼い主の会への加入
飼い主同士が協力体制を築き、助け合いながら飼育場所をきちんと運営・管理するため、ペット飼育場所を利用する飼い主は加入することとします。

- ・ ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行います
- ・ 人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
- ・ 給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえで決定し、拠点運営委員会へ報告します
- ・ 拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対応し解決します

様式 4 - 3

様式 4-3

ペットの名前	受付番号 (No.)

**地域防災拠点飼い主の会
参加同意書**

私は、地域防災拠点（避難所）でペットを飼育するにあたり、
ペットが苦手な方やアレルギー等健康上問題が生じる方がいる
ことに配慮し、次の事項に同意します。

_____年 月 日

氏名 _____

連絡先 _____ 地区名 _____

1 「飼い主の会」に加入し、役割を決め、飼い主同士が連携に努めます。

2 ペットの飼育管理に責任をもち、避難所での飼育ルールを遵守します。
 ・ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行うこと
 ・人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
 ・給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえで決定し、拠点運営委員会へ報告すること
 ・拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対応し解決すること

3 飼い主としての責務を怠った場合や周囲へ迷惑を及ぼす状況が続く等により「飼い主の会」または拠点運営委員会から注意や指示を受けた場合は、直ちにそれに従います。

様式 4 - 4

様式 4-4

犬
猫
他

地域防災拠点ペット登録簿		NO.	入所	年 月 日
拠点名	住所	退所	年 月 日	
飼い主	住所 (避難場所)		被災	
	フリガナ		状況	
ペット	氏名	電話		
	名前	オス・メス・手術済	種類	
	留意事項 性格・特徴	健康状態	良・否 ()	
	予防処置 混合ワクチン	未接種 年 月 日	混合ワクチン接種済	
ペット用 携行品等	フード	日分	ケージ	食器
	水	日分	手紙	
飼い主	役 割	飼育管理・衛生管理 (ケージ清掃・エリヤ清掃)・連絡調整・飼育場所設置維持 その他 ()		
	飼育場所	ケージ番号等		
保護したペット情報	種 類	犬【 】・猫【 】	他【 】 オス・メス・手術済・性別不明	
	発見場所	付定で発見 年 月 日 時頃保護		
	保護日時	飼育場所・ケージ番号等:		
	首輪 (有・無) 【特徴:			
	鑑札 (有・無) 【番号:			
	迷子札 (有・無) 【記載事項:			
健康状態	良好・不良【併記:		死亡【 年 月 日	
飼い主	連絡済み	連絡済み【連絡日時:	年 月 日	返連日時 年 月 日
特記事項				

様式 4 - 5

様式 4-5

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

----- 切り取り線 -----

様式 4-5

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

様式 4 - 6

様式 4-6

地域防災拠点における飼育ルール

※ ルールの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会が検討したうえで、加除修正を行い、地域の実情に合ったルールを作成してください。

飼い主の皆さんへ

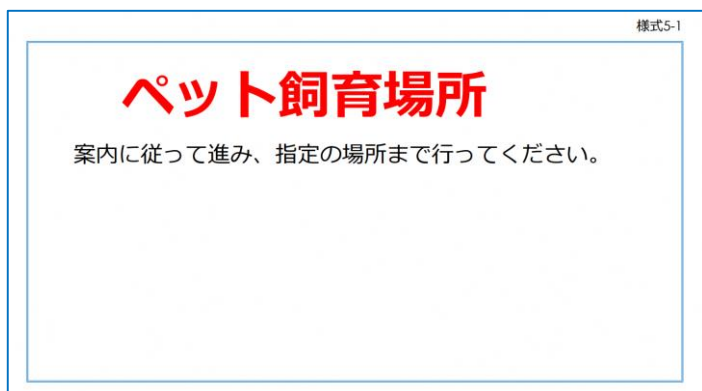
この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - ・ 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - ・ 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - ・ 救援物資 (ペットフード・資材等) の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージを清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所でさせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世帯も飼い主の皆さんで共同で行っていただくようお願いいたします。

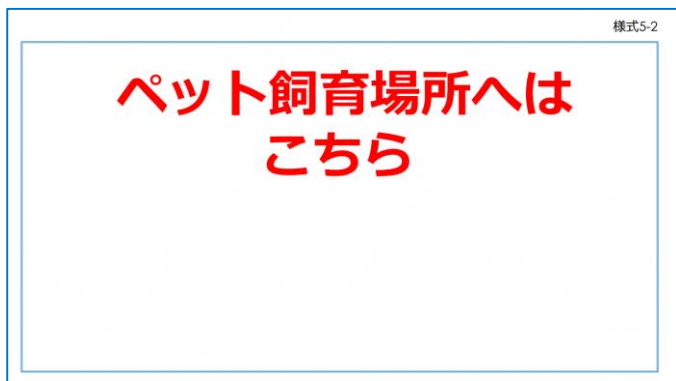
手順5. ペット飼育場所を周知する

手順	様式
受付からペット一時飼育場所までの道順を記入する。受付から飼育場所が遠い場合は、飼育場所までの途中にも2番目の案内（様式5-2）に矢印を加え掲示する	5-1 5-2

様式5-1



様式5-2 (矢印を記入して貼る)



手順6. 受付を開始する

手順	様式
1 手順4で用意した書類（様式4-3,4-4,4-5）の3枚の受付書類に記入してもらう	4-3
2 ペット情報カードをクリアポケットに入れ、ガムテープでケージに貼り付ける。	4-4 4-5
3 受付番号を番号札にマジックで記入しケージに着ける	4-6
4 地域防災拠点における飼育ルールを飼主に渡し、ペット一時飼育場所を案内する。	

- ・ **(様式4-3) 地域防災拠点飼い主の会参加同意書**

〔利用目的〕

飼い主同士が協力体制を築き、助け合いながら飼育場所をきちんと運営・管理するため、飼い主の会を結成し、ペット飼育場所を利用する飼い主は加入することとする。

- ・ **(様式4-4) 地域防災拠点ペット登録票**

〔利用目的〕

この地域防災拠点に避難しているペットの数、種類などを把握し、必要な支援を得るために必要となる。

- ・ **(様式4-5) ペット情報カード**

〔利用目的〕

ペットの傍に飼い主さんが居ない時に、代わりにお世話する方がペットの詳細を把握できるようケージに掲示する。

〔様式4-3〕 地域防災拠点飼い主の会参加同意書

記入例

様式 4-3

ペットの名前	受付番号 (No.)
ぽち	1

〇〇地域防災拠点飼い主の会 参加同意書

私は、地域防災拠点（避難所）でペットを飼育するにあたり、
ペットが苦手な方やアレルギー等健康上問題が生じる方がいる
ことに配慮し、次の事項に同意します。

2020年 11月16

氏名 つるみ たろう

連絡先 090-XXXX-XXXX 地区名 〇〇地区

- 1 「飼い主の会」に加入し、役割を決め、飼い主同士が連携に努めます。
- 2 ペットの飼育管理に責任をもち、避難所での飼育ルールを遵守します。
 - ・ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行うこと
 - ・人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
 - ・給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえ
で決定し、拠点運営委員会へ報告すること
 - ・拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対
応し解決すること
- 3 飼い主としての責務を怠った場合や周囲へ迷惑を及ぼす状況が続く等
により「飼い主の会」または拠点運営委員会から注意や指示を受けた場合
は、直ちにそれに従います。

〔様式4-4〕 地域防災拠点ペット登録票

留意事項、健康状態、特記事項はできるだけ詳しく記入してもらおう。例えば、アレルギーの有無、他人・他ペットへの攻撃性、毎日飲ませている薬、健康状態（持病の有無）などは必ず記入してもらおう。

記入例

様式 4-4

該当に○



地域防災拠点ペット登録票		N.O.		入所				
拠点名		〇〇地域防災拠点		1				
				2020年 11月 16日				
				年 月 日				
避難者が記入	飼い主	住所 (避難場所)	鶴見区鶴見中央三丁目20番1号 (地域防災拠点)			被災状況	焼損・ 倒壊 ・他	
		フリガナ 氏名	つるみ たろう	電話 (連絡先)	090-XXXXX-XXXX			
	ペット	名前	ぼち	オス・メス	手術済	種類	コーギー	
		留意事項	性格・特徴	恐がり、噛む、食物アレルギー有		健康状態	良・ 否 (足を怪我している)	
		予防処置	混合ワクチン	未接種	2020年3月11日	5種混合ワクチン接種済		
		狂犬病予防接種	未接種	2020年4月24日	接種済	ノミダニ予防 未済・済()月		
ペット用 携行品等		フード	3日分	ケージ	<input type="checkbox"/>	食器	<input checked="" type="checkbox"/>	
		療法食	日分	リード	<input checked="" type="checkbox"/>	ペットシーツ	<input type="checkbox"/>	
		水	日分	手帳	<input checked="" type="checkbox"/>	排泄処理用品	<input type="checkbox"/>	
運営委員会記入	飼い主	役割	飼育管理・衛生管理(ケージ清掃・エリア清掃)・連絡調整・飼育場所設営維持 その他()					
	ペット	飼育場所	プール横飼育場所 入口から一番奥	ケージ番号等	1			
		留意事項						
	保護したペット情報	種類	他【 】		オス・メス・手術済・性別不明			
		発見場所	付近で発見、年 月 日 時頃保護					
		保護日時	飼育場所・ケージ番号等:					
		識別情報	首輪(有・無)【特徴:	】				
			鑑札(有・無)【番号:	】				
健康状態	良好・不良【措置:		】・死亡【年 月 日】					
飼い主	連絡つかず 連絡済み【連絡日時: 年 月 日、返還日時 年 月 日】							
移送	区・動物救援センターに 年 月 日連絡、年 月 日移送							
特記事項	飼い主以外がダメで、噛む可能性あり。持病があり〇〇を毎日飲ませている							

ペット情報カードの備考欄にも必ず記載する

〔様式4-5〕 ペット情報カード

〔様式4-4〕 地域防災拠点ペット登録票に記入したものと
 同じ受付番号(No.) ペットの名前、緊急連絡先、飼い主
 氏名を枠内に記入し、枠外に留意事項・健康状態・特記
 事項を記入する。

記入例

様式 4-5

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
1	ぼち
緊急連絡先	飼い主氏名
090-XXXX-XXXX	つるみ たろう
備考 * こわがり * 食べ物アレルギーあり * 足を怪我している * 持病があり〇〇を毎日飲ませている * 飼い主以外がダメで、噛む可能性あり	

地域防災拠点ペット登録票に記載ある、〔健康
 状態〕〔留意事項〕〔特記事項〕
 をここに書く

線に沿って
 半分に切る

----- 切り取り線 -----

様式 4-5

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

クリアポ
 ケットに
 入れる。

〔様式4-6〕 ペット飼育ルール

様式 4-6

地域防災拠点における飼育ルール

※ ルールの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会で検討したうえで、加除修正を行い、地域の実情に合ったルールを作成してください。

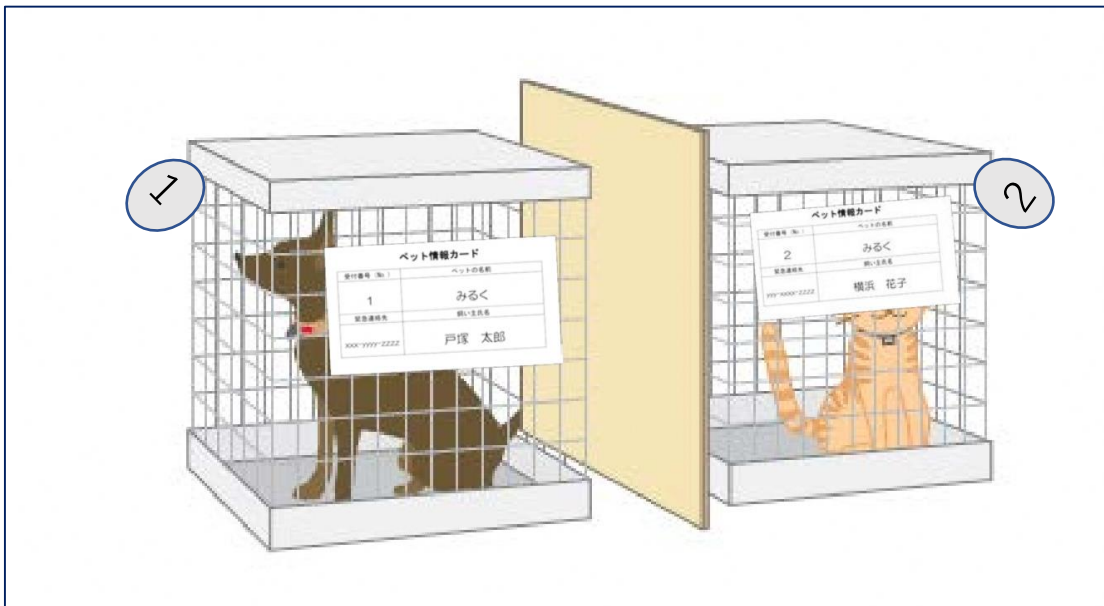
飼い主の皆さんへ

この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - ・ 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - ・ 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - ・ 救援物資（ペットフード・資材等）の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所でさせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世話も飼い主の皆さんで共同で行っていただくようお願いいたします。

地域防災拠点に合わせて、必要なルールは付け足してください。

ケージの配置の例



ここからの作業は状況が落ち着いてから 行ってください

手順 7. ペットたちの情報をまとめる

手順	様式
<p>1 地域防災拠点ペット登録票を使って飼い主の会名簿を作成する</p> <p>2 メンバーが受付を離れるときは、個人情報記載されている書類（地域防災拠点飼い主の会参加同意書、名簿、地域防災拠点ペット登録票）を地域防災拠点運営委員会に保管してもらう</p>	<p>4 - 3</p> <p>4 - 4</p> <p>7 - 1</p>

様式 7 - 1

地域防災拠点飼い主の会 名簿					様式7-1 NO. _____	
受付 #	飼い主情報		ペット情報情報			
	氏名	飼い主の会 担当	種類	名前	年齢・特徴	
記入例	つるみ たろう 連絡先電話番号 090-XXXX-XXXX 避難場所 ABC地域防災拠点	朝の排泄ゴミ箱 の片づけ	犬・猫 その他 ()	ぼち 性別(手術) ♂・♀(未・済) 大きさ 大・中・小	16歳、恐がり、噛む可能性有	ケージ (キャリー) 有 / 無 備考(要治療の有無・必要なペット用品(リード、首輪・フード等)、その他特記すべき事項 ※緊急を要するものは赤で記入 要治療 (有) 無) 内容: ガラスで前脚を怪我 首輪無し・食物アレルギーあり 持病有り。毎日〇〇の投与必要
			犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無 要治療 (有・無) 内容:
			犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無 要治療 (有・無) 内容:
			犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無 要治療 (有・無) 内容:
			犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無 要治療 (有・無) 内容:
			犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無 要治療 (有・無) 内容:

手順9. 飼育ルールを周知する

手順	様式
<p>地域防災拠点の掲示板に、必要な内容について 掲示する</p> <ul style="list-style-type: none">・ ペット飼育ルール・ ペットに関する相談、苦情などの連絡先・ ペットのフードなどの支援物資受取予定 ⇒ (予定) 日時・内容・引き渡し場 所	

様式集

様式番号		
1 - 1	ペット一時待機場所案内	掲示用
2 - 1	待機所までの案内図	掲示用
2 - 2	ペット同行避難の方向け	掲示用
3 - 1	ペット飼育場所立入禁止	掲示用
3 - 2	ペット飼育場所（犬）	掲示用
	ペット飼育場所（猫）	掲示用
	ペット飼育場所（エキゾチックアニマルなど）	掲示用
3 - 3	排泄物などはこちら	掲示用
4 - 1	ペット受付	掲示用
4 - 2	地域防災拠点における飼育ルール（A3）	掲示用
4 - 3	地域防災拠点飼い主の会参加同意書	受付記入用
4 - 4	地域防災拠点ペット登録票	受付記入用
4 - 5	ペット情報カード	受付記入用
4 - 6	地域防災拠点における飼育ルール	配布用
5 - 1	ペット飼育場所案内	掲示用
5 - 2	ペット飼育場所へはこちら	掲示用
7 - 1	地域防災拠点飼い主の会名簿	運営用
8 - 1	飼い主の会担当役割分担表・役割内容説明	運営用
8 - 2	飼育管理ルール	運営用

地域防災拠点ペット飼育場所設営手順書
鶴見区役所総務課・生活衛生課
令和5年6月発行

ペット飼育場所 開設キット



設営の手順書・掲示物・書類・筆記用具など、
設営に必要な様々な用具が入っています。

令和5年度配布 鶴見区役所総務課・生活衛生課
協力：鶴見レスキューパウズ

ペット一時待機場所

ペット飼育場所の設営が完了するまで一時的に
待機させています。
設営が整い次第、移動します。

事故防止の為、飼い主さん、関係者以外はペットに触れないでください！

何かありましたら_____までご連絡ください。

Tel _____。

※校庭配置図があれば、そちらに記入する

ペット同行避難の方



ペットを連れて避難して来た方は下記案内の矢印に従って進み、指定の場所まで来てください。

※ここにペット一時待機場所への矢印を記入する



ペット飼育場所

飼い主・関係者以外

立ち入り禁止

かってにはいらないでね



さわらないで

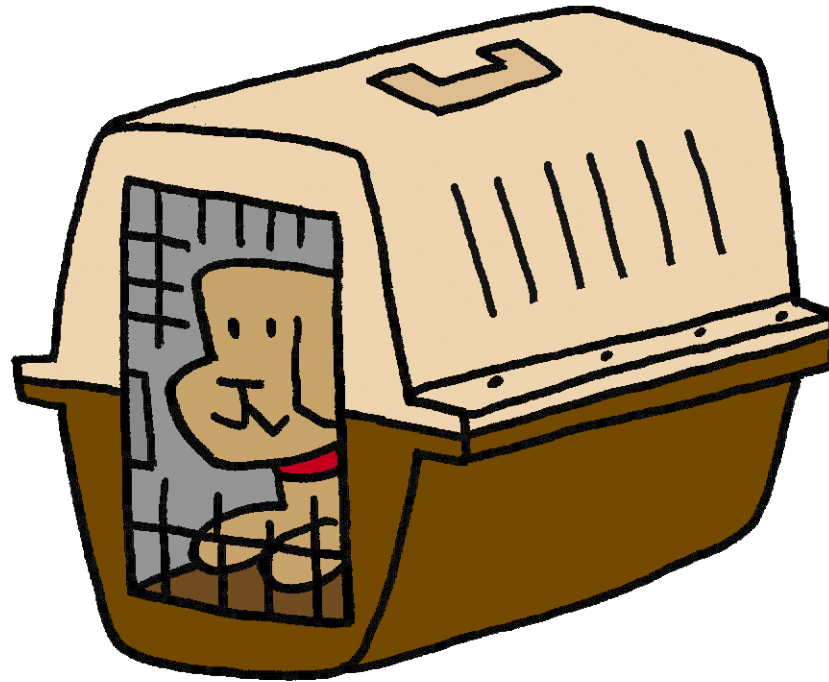
飼い主に許可なく勝手にペットに触れないでください



さわらないで

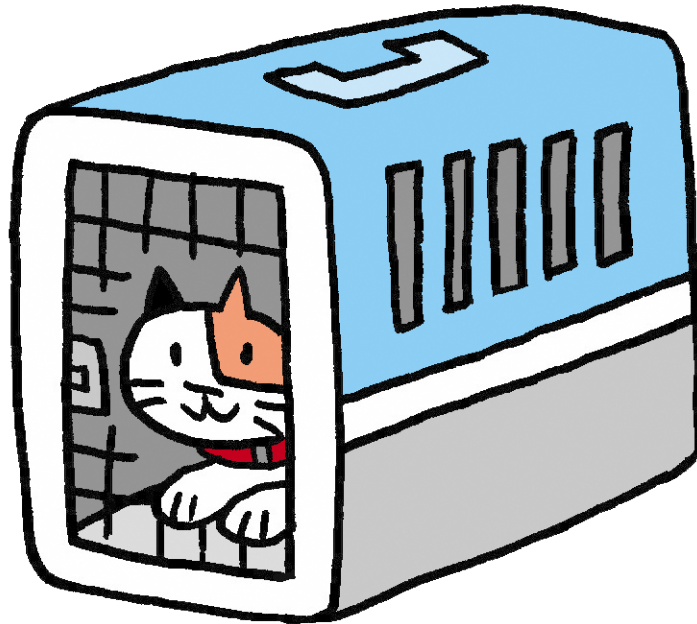
緊急時は _____ (Tel _____) まで。

ペット飼育場所 (犬)



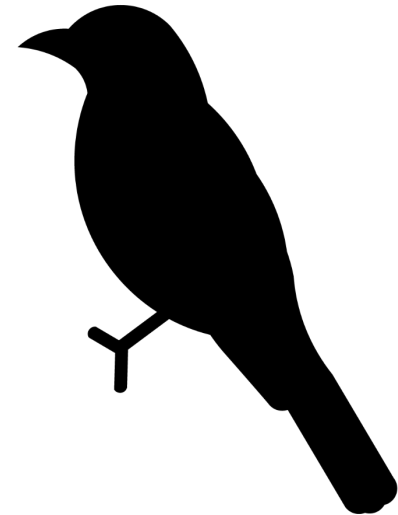
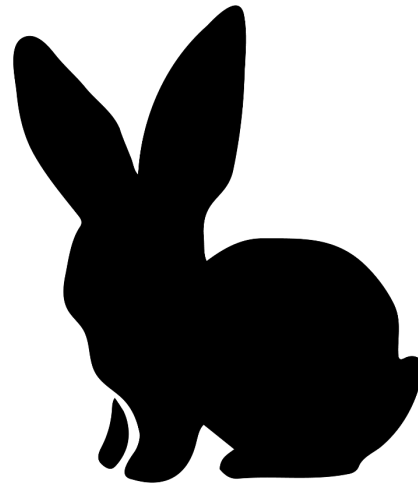
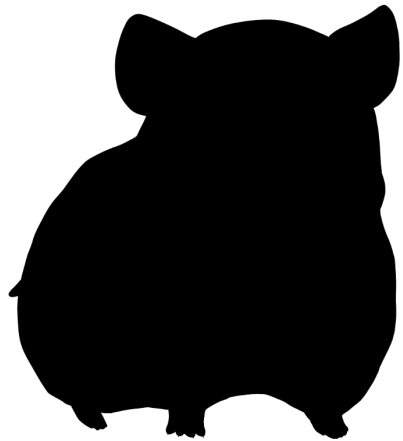
緊急時は _____ (Tel _____) まで。

ペット飼育場所 (猫)



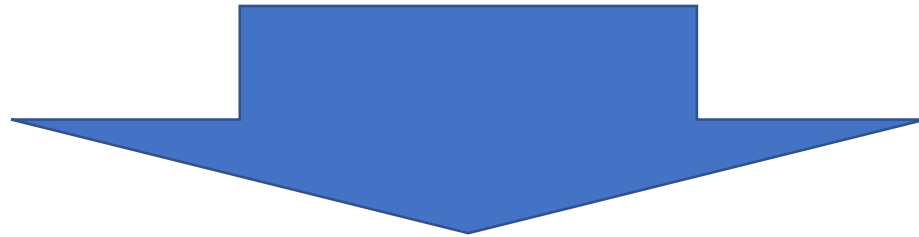
緊急時は _____ (Tel _____) まで。

ペット飼育場所 (その他)

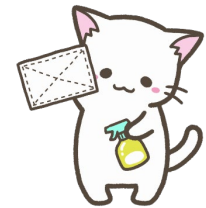


緊急時は _____ (Tel _____) まで。

排泄物などはこちら



- ・臭いが漏れないようビニール袋の口はしっかりと結んでください
- ・排泄した場所は消毒・消臭スプレーでしっかりと拭いてください
- ・袋が溢れそうな時は、新たな袋をセットしてください



臭いなどが苦情の原因となります。飼い主さん同士協力して清潔に保ちましょう

ペット受付

飼い主の会への加入

飼い主同士が協力体制を築き、助け合いながら飼育場所をきちんと運営・管理するため、ペット飼育場所を利用する飼い主は加入することとします。

- ・ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行います
- ・人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
- ・給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえで決定し、拠点運営委員会へ報告します
- ・拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対応し解決します

ペット飼育場所

案内に従って進み、指定の場所まで行ってください。

**ペット飼育場所へは
こちら**

飼い主の皆さんへ

この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - 救援物資（ペットフード・資材等）の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所でさせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世話も飼い主の皆さんで共同して行っていただくようお願いいたします。

地域防災拠点飼い主の会 参加同意書

私は、地域防災拠点（避難所）でペットを飼育するにあたり、
ペットが苦手な方やアレルギー等健康上問題が生じる方がいる
ことに配慮し、次の事項に同意します。

年 月 日

氏 名

連絡先 地区名

- 1 「飼い主の会」に加入し、役割を決め、飼い主同士が連携に努めます。
- 2 ペットの飼育管理に責任をもち、避難所での飼育ルールを遵守します。
 - ・ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行うこと
 - ・人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
 - ・給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえで決定し、拠点運営委員会へ報告すること
 - ・拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対応し解決すること
- 3 飼い主としての責務を怠った場合や周囲へ迷惑を及ぼす状況が続く等により「飼い主の会」または拠点運営委員会から注意や指示を受けた場合は、直ちにそれに従います。

ペットの名前	受付番号 (No.)
ぽち	1

〇〇地域防災拠点飼い主の会 参加同意書

私は、地域防災拠点（避難所）でペットを飼育するにあたり、
ペットが苦手な方やアレルギー等健康上問題が生じる方がいる
ことに配慮し、次の事項に同意します。

2020年 11月16

氏名 つるみ たろう

連絡先 090-XXXX-XXXX 地区名 〇〇地区

- 1 「飼い主の会」に加入し、役割を決め、飼い主同士が連携に努めます。
- 2 ペットの飼育管理に責任をもち、避難所での飼育ルールを遵守します。
 - ・ペットの世話は、ペットの一時飼育場所において、飼い主等が行うこと
 - ・人の生活範囲内へペットを持ち込むことは禁止
 - ・給餌、清掃、排泄物処理方法などについては、飼い主等が話し合いのうえ
で決定し、拠点運営委員会へ報告すること
 - ・拠点におけるペットに関するトラブルや苦情については、飼い主等が対
応し解決すること
- 3 飼い主としての責務を怠った場合や周囲へ迷惑を及ぼす状況が続く等
により「飼い主の会」または拠点運営委員会から注意や指示を受けた場合
は、直ちにそれに従います。



地域防災拠点ペット登録票				NO.		入所		年 月 日		
拠点名						退所		年 月 日		
避難者が記入	飼い主	住 所 (避難場所)	()			被災 状況	焼損・倒壊・他			
		フリガナ 氏 名				電 話 (連絡先)				
	ペット	名 前				オス・メス・手術済	種類			
		留意事項	性格・特徴				健康状態	良・否 ()		
		予防処置	混合ワクチン	未接種	・	___年___月___日___種混合ワクチン接種済				
	狂犬病予防接種		未接種	・	___年___月___日接種済	ノミダニ予防	未済	・	済(___月)	
	ペット用 携行品等	無・有	フード	日分	ケージ	<input type="checkbox"/>	食 器	<input type="checkbox"/>		
療法食			日分	リード	<input type="checkbox"/>	ペットシート	<input type="checkbox"/>			
水			日分	手 帳	<input type="checkbox"/>	排泄物処理用品	<input type="checkbox"/>			
運営委員会で記入	飼い主	役 割	飼育管理・衛生管理(ケージ清掃・エリア清掃)・連絡調整・飼育場所設営維持 その他 ()							
	ペット	飼育場所				ケージ番号等				
		留意事項								
	保護したペット情報	種 類	犬【 】・猫【 】 他【 】 オス・メス・手術済・性別不明							
		発見場所	付近で発見、 年 月 日 時頃保護							
		保護日時	飼育場所・ケージ番号等：							
		識別情報	首 輪(有・無)【特徴：	】						
鑑 札(有・無)【番号：			】							
迷子札(有・無)【記載事項：			】							
健康状態	良好・不良【措置： 年 月 日】 ・ 死亡【 年 月 日】									
飼 い 主	連絡つかず 連絡済み【連絡日時： 年 月 日、返還日時 年 月 日】									
移 送	区・動物救援センターに 年 月 日連絡、 年 月 日移送									
特記事項										

記入例

該当に○



地域防災拠点ペット登録票			NO.		入所		2020年 11月 16日			
拠点名			○○地域防災拠点		1		退所 年 月 日			
避難者が記入	飼い主	住所 (避難場所)	鶴見区鶴見中央三丁目 20 番 1 号 (地域防災拠点)			被災 状況	焼損・ <u>倒壊</u> ・他			
		フリガ 氏 名	つるみ たろう		電 話 (連絡先)	090-XXXX-XXXX				
	ペット	名 前	ぼち		オス・ <u>メス</u> ・ <u>手術済</u>	種類	コーギー			
		留意事項	性格・特徴	<u>恐がり、嘔む、食物アレルギー有</u>			健康状態	良・ <u>否</u> <u>足を怪我している</u>)		
		予防処置	混合ワクチン	未接種	・ 2020年 3月 11日 5 種混合ワクチン接種済					
	ペット用 携行品等	無・ <u>有</u>	フード	3日分	ケージ	<input type="checkbox"/>	食 器	<input checked="" type="checkbox"/>		
療法食			日分	リード	<input checked="" type="checkbox"/>	ペットシート	<input type="checkbox"/>			
水			日分	手 帳	<input checked="" type="checkbox"/>	排泄物処理用品	<input type="checkbox"/>			
運営委員会で記入	飼い主	役 割	飼育管理・衛生管理 (ケージ清掃・エリア清掃)・連絡調整・飼育場所設営維持 その他 ()							
		ペット	飼育場所	プール横飼育場所 入口から一番奥	ケージ番号等	1				
	保護したペット情報	ペット	留意事項							
		種 類	他【 】			オス・メス・手術済・性別不明				
		発見場所	付近で発見、 年 月 日 時頃保護							
		保護日時	飼育場所・ケージ番号等：							
		識別情報	首 輪 (有・無)【特徴：	】						
			鑑 札 (有・無)【番号：	】						
迷子札 (有・無)【記載事項：	】									
マイクロチップ (有・無)										
健康状態	良好・不良【措置： 】 ・ 死亡【 年 月 日】									
飼 い 主	連絡つかず									
	連絡済み【連絡日時： 年 月 日、返還日時 年 月 日】									
移 送	区・動物救援センターに 年 月 日連絡、 年 月 日移送									
特記事項	<u>飼い主以外がダメで、嘔む可能性あり。持病があり○○を毎日飲ませている</u>									

ペット情報カードの備考欄にも必ず記載する

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

----- 切り取り線 -----

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
1	ぼち
緊急連絡先	飼い主氏名
090-XXXX-XXXX	つるみ たろう
備考 * こわがり * 食べ物アレルギーあり * 足を怪我している * 持病があり〇〇を毎日飲ませている * 飼い主以外がダメで、噛む可能性あり	

地域防災拠点ペット登録票に記載ある、〔健康状態〕〔留意事項〕〔特記事項〕をここに書く

----- 切り取り線 -----

様式 4-5

ペット情報カード

受付番号 (No.)	ペットの名前
緊急連絡先	飼い主氏名
備考	

地域防災拠点における飼育ルール

※ ルールの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会で検討したうえで、加除修正を行い、地域の実情に合ったルールを作成してください。

飼い主の皆さんへ

この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - ・ 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - ・ 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - ・ 救援物資（ペットフード・資材等）の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所でさせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世話も飼い主の皆さんで共同して行っていただくようお願いいたします。

○○ 地域防災拠点における飼育ルール

※ ルールの一例です。飼い主の会と拠点運営委員会で検討したうえで、加除修正を行い、地域の実情に合ったルールを作成してください。

飼い主の皆さんへ

この地域防災拠点で人と動物が気持ちよく過ごせるように、次のことを守ってください。

- 1 地域防災拠点に同行できるペットは、犬・猫・小鳥や小型のげっ歯類などです。それ以外のペットは同行できません。
- 2 ペットは決められた場所で、ケージに入れるか、支柱につなぎとめるなどして飼育しましょう。
- 3 ペットの飼育・管理は、飼い主自身が責任を持って行います。
- 4 ペットの飼育に必要な作業は、飼い主の皆さんで協力して行いましょう。
 - 飼育場所と周辺区域の清掃・消毒
 - 廃棄物・排泄物集積場所の管理
 - 救援物資（ペットフード・資材等）の搬入・仕分け・配分
- 5 決まった時間に給餌し、残った餌は後始末をしましょう。ペットの体やケージ内を清潔に保つなど、周囲に影響を及ぼさないようにしましょう。
- 6 排泄は指示された場所でさせ、後始末をきちんと行いましょう。
- 7 地域防災拠点には、負傷などによりペットの世話ができない飼い主もいます。お互いに助け合いながらペットの管理をするようにしましょう。
- 8 散歩は、敷地外または、敷地内の指定された場所で行いましょう。散歩する際には、必ずリードをつけましょう。
- 9 一時保護された迷子のペットの世話も飼い主の皆さんで共同して行っていただくようお願いいたします。

飼い主の会 担当・役割分担表

代表 : _____

副代表 : _____・_____

拠点運営委員会との連絡係 : _____・_____・_____

救援物資管理係 : _____・_____・_____

一時飼育場所管理 :

午前中(時 ~ 時頃)	午後(時 ~ 時頃)
(月) _____・_____	_____・_____
(火) _____・_____	_____・_____
(水) _____・_____	_____・_____
(木) _____・_____	_____・_____
(金) _____・_____	_____・_____
(土) _____・_____	_____・_____
(日) _____・_____	_____・_____

食事・お散歩・排泄など基本的なお世話は飼い主自身が行います。
 ただし、飼い主さんが怪我などで難しい場合や様々な手続き等で長時間避難所を離れないといけない時などは、飼い主同士協力し合ってお世話しましょう。

※その際はペットが慣れない環境で神経質になっている場合もあるので噛まれたり脱走させないように、気を付けましょう。

各自役割内容

代表

一時飼育場所の運営に関連する様々な作業の総括

副代表

代表のサポート

拠点運営委員会との連絡系の役割

飼い主の会から：

- ①不足資材・フードの支援要請 ②失踪動物の捜索依頼
- ③動物ボランティアの要請 ④その他ペットの応急医療要請

※必要な物資等は拠点運営委員から区対策本部に報告してもらう※

拠点運営委員側から：

- ①飼育場所に関する改善要請 ②非飼養避難者からの不満等の解決策
- ③区対策本部から動物支援ボランティア派遣について
- ④動物救援病院の状況について

など連絡のやり取り

救援物資管理係

飼い主さん達が必要な支援物資をとりまとめ、連絡係に報告し、拠点に届いたペットの支援物資の受け取り、配布、在庫管理を行う

一時飼育場所管理

飼育場所が衛生的に保たれているか確認し、必要であれば清掃を行い、ゴミ袋やトイレシートなど不足の備品があれば物資管理係に報告する。

- 食べ残し、排せつ物などが散乱していないか
- ゴミ箱があふれていないか

☆可能であれば、体調が悪いペットがいないか観察する

以上

飼養管理ルール

- ☆基本、ペットの飼育・管理は飼い主さん自身が責任をもって行うが、負傷などにより管理が出来ない飼い主さんもあるので、互いに助け合いながら管理する。
- ☆飼育場所とその周辺の清掃・消毒、排泄物処理などについても、飼い主さん同士が協力し合い行う。
- ☆状況は刻々と変わっていきます。状況に応じられるよう都度、内容の見直しが必要となる。

※飼い主同士で避難所での飼育ルールを話し合しましょう

参加人数 _____ 人

作成日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

避難から一時飼育場所設置、受付開始までの イメージ図

地域防災拠点に
到着

拠点運営委員からスターターキットを受け取り、手順書に沿って作業開始する
(詳細は手順書に記載有り)

手順 1

ペットの一時待機場所設置

[様式 1-1]

* 作業の際ペットの安全を確保するため一時待機場所を設け、ケージに入れるか或いは係留する

手順 2

後から避難してくるペット
同行避難者向けに、全ての
校門に一時待機場所までの
案内を掲示

[様式 2-1~2-2]

次に来る同行避難者が直接一時待機場所に来られるよう、まずは一時待機場所までの案内を掲示する
(飼い主さんが直接一般の避難者受付に行く場合もあるので、一般の避難者受付の担当者にペットの一時待機場所の設置場所を伝えておく)

(注意) 事故防止のため、必ずひとり
はペットの傍にいまする

* 同行避難者が数名集まり、可能なら手順 2~5 の作業を分担し、同時進行で行う

手順 3

ペットの一時飼育場所を
設置する

[様式 3-1~3-3]

* 防災拠点で既に一時飼育場所が決まっている場合はそこに。決まっていない場合は話し合っで決める。

手順 4

ペット同行避難者受付を
設置する

[様式 4-1 ~ 4-6]

* 同時に、一時待機場所のペットたちを
一時飼育場所に移動させる

* ペットを受入れのため、一時飼育場所
にひとり配置する
(この時、ケージに移す、係留するなどの
作業はできるだけ飼い主さん自身で
行ってもらう。飼い主さんがひとりで
難しい場合は、周りに協力をお願い
する)

手順 5

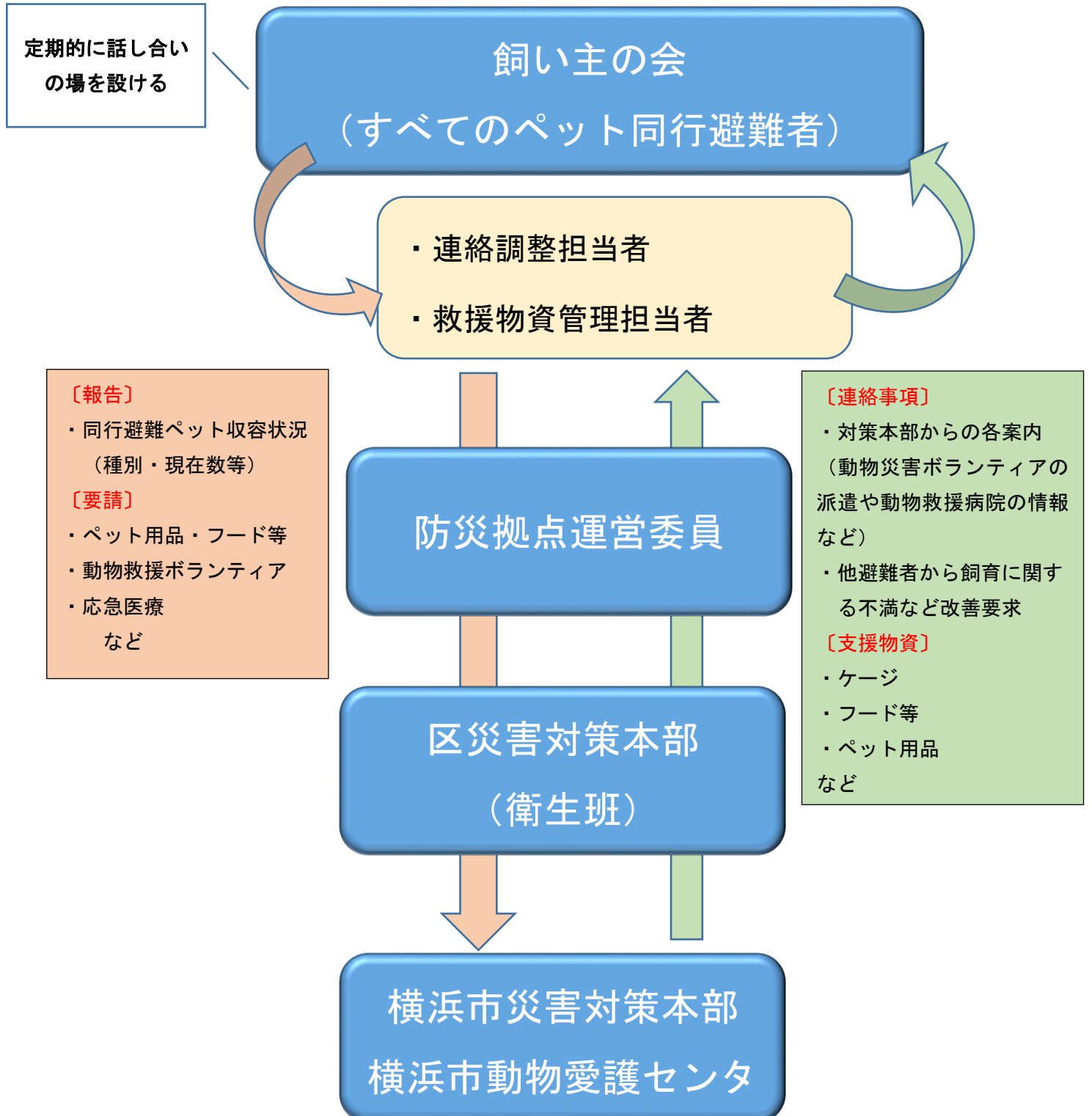
ペット同行避難者受付からペ
ット一時飼育場所への道順を
掲示する

[様式 5-1~5-2]

手順 6

準備が整ったら受付を
開始する

連絡事項・物資等のやりとりのイメージ図



様式 7-1

域防災拠点飼い主の会 名簿				ペット情報情報		NO.
飼い主情報		種類		名前		ケージ (キャリー)
氏名	飼い主の会 担当	種類	性別(手術)	大きさ	年齢・特徴	
受付 #	連絡先電話番号 避難場所					備考(要治療の有無・必要なペット用品(リード、首輪・フード等)、その他特記すべき事項 ※緊急を要するものは赤で記入
記入例	つるみ たろう 090-XXXX-XXXX ABC地域防災拠点	犬・猫 その他 ()	ぼち ♂・♀(未・済) 大・中・小	16歳、恐がり、嘔む可能性有	有 / 無	要治療 (有・無) 内容：ガラスで前脚を怪我 首輪無し・食物アレルギーあり 持病有り。毎日〇〇の投与必要
		犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無	要治療 (有・無) 内容：
		犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無	要治療 (有・無) 内容：
		犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無	要治療 (有・無) 内容：
		犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無	要治療 (有・無) 内容：
		犬・猫 その他	♂・♀(未・済) 大・中・小		有 / 無	要治療 (有・無) 内容：